



## 第7回常任理事会

**日時** 平成21年7月14日（火）17：30～18：40  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか10名)

### 協議事項

**第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（前川常任理事）**

申請のあった日医生涯教育講座37件、道医認定生涯教育講座31件、合計68件を承認することと決定。

### 報告事項

**1. 高等学校進路指導担当教員等説明会[6月25日（木）]について（北野常任理事）**

深川地区の高等学校より6校6名が出席。小職、北海道看護協会・若山会長、深川医師会・吉本会長からそれぞれ挨拶の後、小職からは「北海道における保健医療福祉の現状」、看護協会の高橋常任理事からは「看護職の需給見通しと就業状況」、深川医師会附属准看護学院の金平教務主任からは「深川医師会附属准看護学院の概要」等について説明を行い、准看護師等養成施設への入学を勧奨した。

**2. 緊急臨時的医師派遣事業第4回運営委員会[7月1日（水）]について（宮本副会長）**

延長申請3件と新たに派遣申請のあった8医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

**3. 群馬県医師会との交流会 [7月4日（土）]について（深澤常任理事）**

群馬県医師会から訪問、懇談の依頼があり、鶴谷会長他、副会長、庶務担当理事、保険担当理事の6名と(1)次期診療報酬改定の引き上げについて(取り組み状況等)、(2)緊急臨時的医師派遣事業について、をテーマに交流会を開催した。その他では、当会から北海道の救急医療の現状について説明した。

**4. 医師会立准看護学校連絡協議会[7月5日（日）]について（北野常任理事）**

当会からは「日本医師会医療関係者対策委員会」「平成20年度都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会」等について小職が説明および報告を行った。北海道保健福祉部からは「准看護課程・看護2年課程の入学状況」「母性看護学実習に係る調査結果」等について概要を説明した。その後、看護学校の運営ならびに定員枠等の諸問題に関する意見交換を行った。

**5. 北海道看護協会・北海道医師会懇談会[7月8日（水）]について（北野常任理事）**

本年度は当会が当番となり開催した。「短時間正職員制度」をテーマに、当会から藤井・藤原両常任理事、看護協会からは若山会長と高橋常任理事がそれぞれ情報提供し懇談を行った。

**6. 日本医師会がん対策推進協議会[7月12日（日）]について（畑副会長）**

唐澤会長の挨拶の後、「わが国のがん対策一人として、国として」をテーマに、垣添忠生講師（国立がんセンター名誉総長・日本対がん協会会長）より基調講演が行われた。引き続き、前田厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長より「行政の立場から」、内田常任理事より「医師会の立場から」、それぞれ報告があった。その後、質疑応答が行われた。

**7. 日医各委員会報告**

**(1) 病院委員会[6月19日（金）]について**

**（直江常任理事）**

「今後の病院病床の制度的なあり方について」「医師臨床研修制度と今後の医師養成のあり方」等を検討した。なお、小職より病床移動について問題提起した。

**(2) 医療関係者対策委員会[7月3日（金）]について（北野常任理事）**

羽生田日本医師会常任理事から看護関係の検討会（厚労省5件・文科省1件）における検討状況について報告があった。また、森下委員長からは「将来を見据えた看護職種の制度・資格のあり方について」の骨子案の説明があり、その後、会長諮問に関するフリートーキングを行った。

**(3) 労災・自賠償委員会[7月8日（水）]について（目黒常任理事）**

昨年度、日医会長より「労災保険、自賠償保険をめぐる今日のあり方」について諮問を受け、論点を絞り協議・検討を重ねてきたが、今回の委員会では答申書の構成案およびその執筆担当等について意見交換した。また、去る6月24日に当委員会委員と損保協会、損保料率機構との三者で協議会を開催したが、その協議内容についても報告を兼ね意見交換した。

**(4) 産業保健委員会[7月9日（木）]について**

**（小山常任理事）**

第31回産業保健活動推進全国会議（9月10日

(木)、環境に関する日本医師会宣言、「地球環境問題」と「グリーン雇用」について説明の後、会長諮問「産業保健サービス提供体制と産業保健活動支援体制の再構築」についてフリートークを行った。

(5) **医事法関係検討委員会[7月10日(金)]**について (橋本常任理事)

院内暴力、医師の応招義務についてフリーディスカッションが行われ、畔柳顧問弁護士から5月に発表された厚労省の「ハンセン氏病問題の再発防止検討会」について、患者および医師の権利の法制化についての説明があった。

(6) **がん対策推進委員会[7月12日(日)]**について (畑副会長)

答申「がん検診の今後のあり方ー検診受診率向上と精度管理システムー」の作成にあたり、今までの委員会での論点を整理した骨子(案)をもとに執筆分担を決めた。

8. **外部各委員会報告**

(1) **第1回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会[7月3日(金)]**について (藤原常任理事)

広域連合の運営において、「国庫補助金が増額されているが、その用途が制約されている」「短期被保険者証の発行について、広域連合長が必要と認めるものの定義が不明確である」「医療費通知はコストの関係で、再考を要する」「後期高齢者に対する後発医薬品の使用促進に関し、一部不適切な事柄がある」等の意見を述べ、協議を行った。

9. **各部報告**

(1) 「医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案」に関するアンケート調査結果報告について

(橋本常任理事)

4月に実施した標記アンケート調査の結果報告を行った。

10. **その他**

(1) **第43回北海道ドクターズゴルフ協議会役員会[6月28日(日)]**について (橋本常任理事)

本年の大会は、室蘭市医師会の担当により128名の参加者を得て盛会裏に終了した。来年の第44回大会は、小樽市医師会の担当で6月27日(日)小樽CCで開催される。また第45回大会は、函館市医師会の担当で平成23年6月26日(日)北海道CC(大沼コース)で開催される。

(2) **日本の医療を守る道民協議会第8回総会[7月11日(土)]**について (深澤常任理事)

長瀬同協議会会長の挨拶後、議事(1)役員の変更については、小職から役員変更のあった所属団体の代表が務める役員の就任について提案し了承された。次いで「わが国の医療の現状と日本医師会の取組み」をテーマに、中川俊男日本医師会常任理事・北海道医師会参与を講師に

迎え講演を行った。参加者は、111名であった。

(3) **西区在宅ケア連絡会活動報告**について

(藤原常任理事)

冊子「西区在宅ケア連絡会活動報告(V)」を配付。

**道総医協関連事項 (三宅副会長)**

1. **総会、各専門委員会[7月7日(火)]**について

(三宅副会長)

知事代理として山本副知事から挨拶があった。会長に長瀬会長を、副会長に北大・小山司教授を選出、各専門委員会委員が指名された。地域医療専門委員会委員について、本年度に限り「北海道地域医療再生計画」の検討を行うため、救急医療・地域医療の二専門委員会から3名、外部有識者4名を臨時委員として委嘱し、22名とすることが了承された。20年度の各専門委員会の活動状況の報告の後、21年度協議内容について検討した。その後各専門委員会が行われ、委員長、副委員長が選出された。

## 第8回常任理事会

**日時** 平成21年7月28日(火) 18:00~19:10  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか10名)

**協議事項**

**第1号 母体保護法医師指定に関する件**

(深澤常任理事)

7月15日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

**第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡邊常任理事)**

申請のあった日医生涯教育講座39件、道医認定生涯教育講座36件、合計75件を承認することと決定。

**第3号 その他**

(1) **8月行事予定に関する件 (事務局)**

**報告事項**

1. **医業経営講習会[7月9日(木)・釧路市、7月23日(木)・旭川市]**について (水谷常任理事)

本年度は、釧路市医師会と旭川市医師会の2カ所で開催した。受講者は、釧路市が16名、旭川市が17名の合計33名で若干少ないように感じたが、内容のある講演であった。来年度からは、個別相談なども取り入れ、さらに内容を充実させていきたいと考えている。

2. **北海道医師会・北海道保健福祉部懇談会[7月14日(火)]**について (深澤常任理事)

平成21年第2回定例道議会における保健福祉部予

算計上事業として、感染症対策事業（新型インフルエンザ対策事業）、地域自殺対策緊急強化推進事業（北海道地域自殺対策緊急強化基金）、国が、救急医療の確保・地域の医師確保などを旨として二次医療圏ごとに求める「地域医療再生計画」について、道から説明を受けた後、意見交換した。

### 3. 北海道小児救急地域医師研修事業協議会[7月21日（火）] について（目黒常任理事）

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で今年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域において開催すること、および研修内容を決定した。

### 4. 第5回男女共同参画フォーラム[7月25日（土）] について（藤井常任理事）

日医の主催、当会の担当で札幌グランドホテルで開催した。冒頭、唐澤日医会長、長瀬会長の挨拶の後「私の50+年史：ある心臓外科医の生き方」と題し、テルモハート社取締役会長兼CMO・野尻知里講師により基調講演が行われ、続いて、日医男女共同参画委員会の活動内容（主に女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告）、日医女性医師支援センター事業についてそれぞれ報告があった。また「今、医師の働き方を考えるーともに仕事を継続するためにー」をテーマにシンポジウムが行われ、総合討論の後、本フォーラムの宣言が採択された。参加者は252名（うち男性131名、女性121名）。次回は鹿児島県医師会担当で来年7月24日（土）に開催予定。

### 5. 日医理事会報告（長瀬会長）

日医会費減免規定の一部見直しを行い、高齢減免適用年齢を80歳から83歳に引き上げる等の一部改正案を承認した。詳細は日医理事会報告を参照願いたい。

### 6. 日医各委員会報告

#### (1) 生涯教育推進委員会[7月8日（水）] について（渡邊常任理事）

都道府県医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」、日医生涯教育協力講座セミナー等の承認、また、生涯教育協力特別講演会「最先端医療はここまで進んだ」を東京都をはじめ5都市において開催地医師会等との共催で実施する旨の報告が行われた。議事では、平成22年度以降の日本医師会生涯教育制度実施要綱について検討を行った。

#### (2) 医療政策会議[7月15日（水）] について

（長瀬会長）

小川彰岩手医大学長から「日本の医療 光と影ー大学病院のなくなる日ー」と題した講演の後、フリーディスカッションを行った。

#### (3) 介護保険委員会[7月16日（木）] について

（前川常任理事）

委員交代の承認後、外部審議会の審議状況として、介護士の「医行為」についての検討会議において「口腔内吸引」「経管栄養管理」が認められる方向であること、また、要介護認定の見直しに係る検証・検討会においては経過措置に関する報告があり、これらについての意見交換が行われた。各委員から提出された資料では、療養病床の実態、介護療養病床の存続などいくつかの問題提起があった。

#### (4) 広報委員会[7月16日（木）] について

（山科常任理事）

TV会議システムにより参加した。宝住副会長の挨拶に引き続き、中川常任理事から中央情勢報告があった。協議では、報告書「勤務医の加入促進に向けた広報戦略（仮題）」作成ならびに「日医ホームページ」等についてディスカッションを行った。

## 7. 各部報告

#### (1) 新型インフルエンザ対策について

（三戸常任理事）

国においては、今回の新型インフルエンザが季節性インフルエンザとの類似点が多いとの見解から、医療機関における院内感染対策は各医療機関で対応可能な範囲で努めて頂くことになった。道としても、国の考え方を受け、近々原則全医療機関において新型インフルエンザの診療を行って頂くなどの新たな医療体制へ移行する予定である。当会としては、保健所に設置の新型インフルエンザ対策医療専門家会議等で地域事情等を勘案しながら十分に検討のうえ体制移行すること、道民へは、事前に医療機関に電話した上での受診や、感染防止のためのマスクの着用などをチラシ等で周知することを道に要請し、できる限り本医療体制に協力したい。